



中学生同士の交流 & 高校生と中学生の対話 松江二中・川津公・朝酌公・持田公 松東ブロックジュニアリーダー研修 開催!

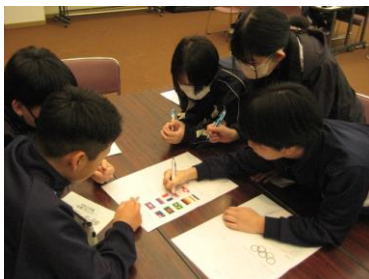
- ×本庄中・本庄公
- ×島根中・島根公
- ×美保関中・美保関公
- ×八束学園・八束公
- ×松江東高校

3月2日(土)に美保関公民館で標記の研修が開催されました。松東ブロックの7公民館が企画・運営を行い、5つの学校・学園の生徒が参加しました。この研修では、各校の中学生リーダーが体験活動とグループワークをとおして交流を深め、「聞く力、伝える力を高めあう」というテーマで活動しました。

午前中は楽しいアイスブレイク(ジャンケン列車・なんでもバスケット)とグループワークトレーニング【GWT】を行い、初対面のメンバーでしたが仲良くなりました。午後は、松江東高校の生徒会を中心とした15名の生徒をゲストに招き、「先輩からのメッセージ」と題して今の高校を選んだ理由や中学生へのアドバイスなどたくさんのお話を聞いてもらいました。各グループ4人の高校生の話を聞きましたが、高校受験のこと、今の充実した高校生活のことなど中学生にとって興味のある話ばかりでした。また、発表してくれた高校生は、自分の言葉で中学生に語りかけたり、逆に中学生に質問したり、和やかな雰囲気でお話をしてくれました。



アイスブレイクで
ジャンケン列車



クイズとGWTをグループで協力して
問題を解く



最後に中学生と高校生で記念撮影



中学生が高校生を他己紹介



先輩からのメッセージ

〈中学生の感想〉

- ・グループワークでは、自分から積極的に発言したり、グループのみんなと協力したりすることの大切さを学ぶことができました。
- ・高校生は、1・2年違うだけで経験も違うし、考え方も違って、おもしろかったです。これから自分の将来について、参考にしていきたいと思いました。

・他校の人や高校生と交流して、自分の中で変わったこととかがたくさんあったので、参加できて良かったと思いました。こういう機会があれば参加してみたいです。

〈高校生の感想〉

・始めは不安がありましたが、中学生のみなさんがしっかりと話を聞いてくれてたくさん話すことができました。私は中3のころに高校に対して様々な不安を抱いていたので、今回中学生に寄り添えたような気がして嬉しかったです。

・中学生から言われて自分も気づかなかった自分に気づくことができました。中学生より高校生の方が、むしろ勉強になったかもと感じました。

ふるさとの「ヒト・モノ・コト」を学んだ 取組 in ヨリアイーナ東出雲

揖屋小学校3年生の「東出雲のお宝発表会」の開催！ たくさんの地域の方、保護者が来られました

3月4日(月)にヨリアイーナ東出雲で標記の発表会が開催されました。揖屋小学校の3年生が総合的な学習の時間で、東出雲のお宝である「佐藤忠次郎」や「陣幕久五郎」、「畑地区の干し柿」について地域の方から教えてもらい、その内容をパワーポイントにまとめ発表しました。子どもたちは、3つのお宝のうち1つを調べ、2~4人グループに分かれ全員が発表しました。発表の会場をヨリアイーナ東出雲(東出雲複合施設)で行うことで、関わってもらった地域の方や保護者、東出雲支所や公民館などたくさんの方が来場され、交流の場にもなったと思います。



〈3年生の感想〉・「3年生なのに、こんなにパワポでできていてすごい。」とか、「こんなことが知れて良かった。」と言ってもらえてうれしかったです。

- ・私が発表で頑張ったことは、大きい声でセリフを言うことです。保護者の人によく伝わるように頑張りました。
- ・陣幕さんのことが、大人の人にはわかってもらえたインタビューでわかりました。また発表を見に来てもらいたいです。
- ・東出雲の3つのお宝について知ってもらえて、嬉しかったです。お客さんの中には、初めて聞く人もいたみたいです。

〈保護者の方の感想より〉・みなさんが発表する声も、1回目より2回目の発表の方が大きく上手になっていました。インタビューまでやっていて、楽しませてもらいました。

地域学校協働本部の 取組 学校支援ボランティアの皆さんの活動が復活！



今年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、学校支援ボランティアの皆さんの活動も復活し、市内で延べ約 25,000 人を超える皆さん(見込み)にお世話になりました。コロナ禍を契機に無くなったものもありますが、それにも増して新たな活動もたくさん行われるようになりました。

学園(中学校区)に配置している地域学校コーディネーターが連絡・調整を行い、学習支援活動や学校行事への支援活動が増えてきました。また、学校の働き方改革にあわせて、水泳学習時の見守り、給食時や休み時間の対応、日々の掃除の時間への参加なども少しずつ増えてきています。

各学園とも PTA や公民館等とも連携しながら、ボランティアの募集をしています。地域の皆さまには、今後ともご協力をお願いします。

令和6年度からの「縁」のデータ配信について

この社会教育主事通信「縁」は、今まではホームページへの掲載のほか、市内の小・中・義務教育学校や公民館等の関係機関・団体へは紙媒体での送付も行っていました。来年度からは、より多くの方に手軽に見ていただけるよう紙媒体での送付は取りやめ、メール配信で行いたいと思います。(詳細については、4月以降にお知らせします。)引き続きご愛読をよろしく申し上げます。

お問い合わせ先

生涯学習課 (山田祐司)

TEL 55-5288

FAX 55-5543

E-mail:s-kikaku@city.matsue.lg.jp



学校教育課

学び推進係 (林 和博)

TEL 55-5341

FAX 55-5251



E-mail:manabi@city.matsue.lg.jp

お気軽にご連絡ください！

バックナンバー
はこちらから